

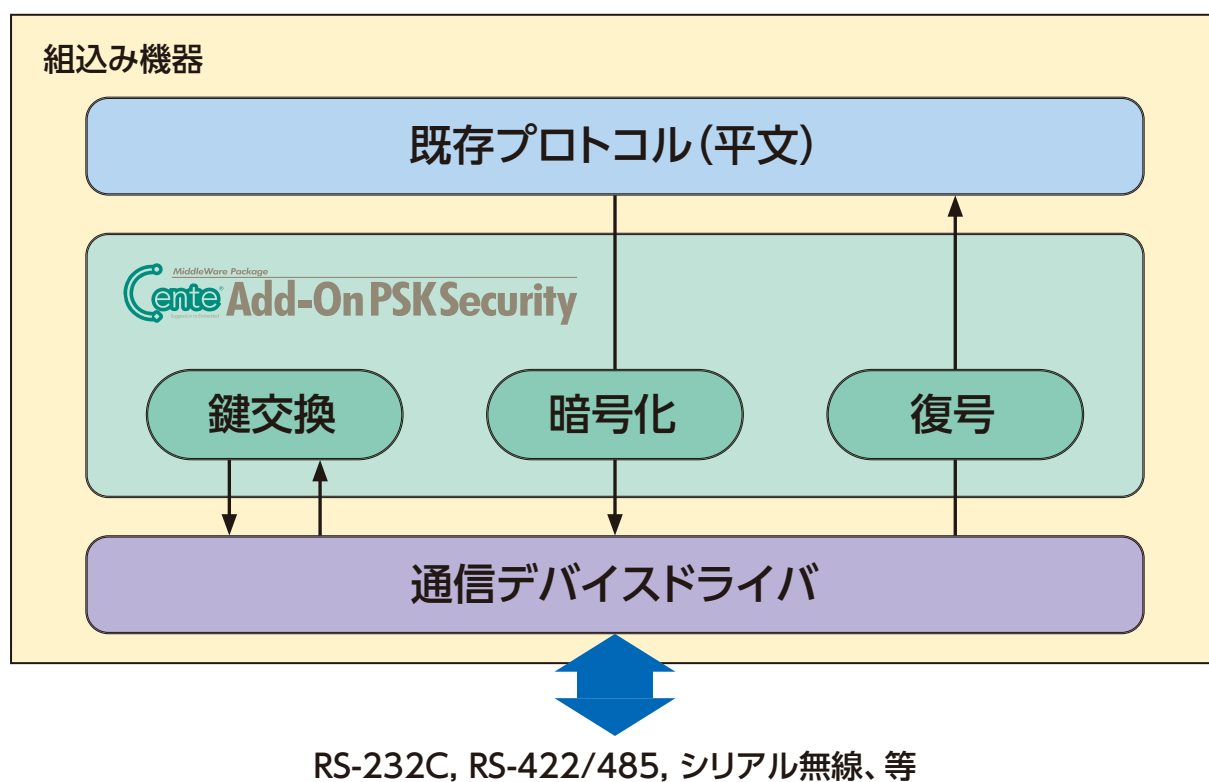
概要

Cente Add-On PSK Securityは独自の通信路をセキュア化する組み込みドライバです。

物理層や既存プロトコルに依存しないため、RS-232C、RS-422/485などの通信路上で動作する独自プロトコルを暗号化することが可能です。

Cente Compact SSLシリーズで培ったセキュリティ技術を投入し、小フットプリントで高強度な暗号アルゴリズム(AES256)に対応しております。既存の通信に手を入れることなく、カンタンに通信経路の高度なセキュア化を実現できます。

概念図



仕様・特長

- 既存通信プロトコルをそのまま利用
 - ✓ 独自仕様の通信処理部と通信デバイスドライバの間に組み込んでAPIをコールするだけ
 - ✓ 既存の通信に手を入れることなく、カンタンに独自通信仕様のセキュア化が可能
- 小リソース環境で動作するコンパクトな設計
 - ✓ ROM/RAMサイズに余裕がない小型の組み込み機器でも動作可能な小フットプリント仕様(最小:ROM: 約10KB, RAM: 約2KB)
- 書動作環境を選ばないCソースコード提供
 - ✓ CPU非依存、OS非依存のCソースコードで提供
- セキュリティは最新強度
 - ✓ 暗号アルゴリズムはTLSでも用いられているAES256を採用
 - ✓ 通信鍵も随時更新できるため、暗号文を盗聴されても解析は困難
- 2つのトポロジに対応
 - ✓ 動的に暗号鍵を更新する1:1向けの「個別モード」
 - ✓ 暗号鍵を静的に生成するN:N向けの「共通モード」

API関数一覧

ユーザ呼び出しAPI

sersp_ini	初期化
sersp_connect	接続
sersp_disconnect	切断
sersp_write	データ送信
sersp_write_with_keyid	キーID指定データ送信
sersp_proc	受信処理

ユーザカスタマイズAPI

sersp_rand_get	乱数発生
----------------	------

コールバックAPI

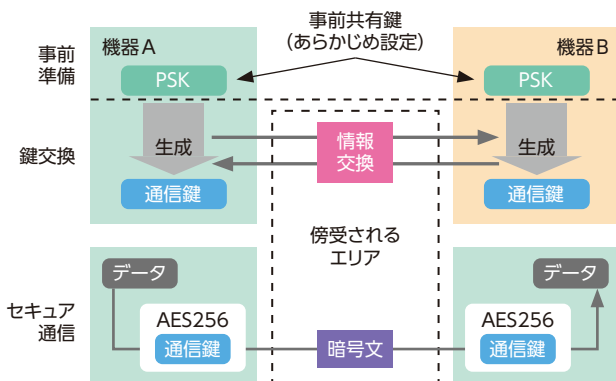
send_data	パケット送信
recv_data	データ受信
notify_msg	メッセージ通知

ユーザカスタマイズAPI

sersp_rand_get	乱数生成
sersp_wai_sem	セマフォ確保(OS使用時)
sersp_sig_sem	セマフォ解放(OS使用時)
sersp_get_param	パラメータ取得

鍵交換と暗号通信について

Cente Add-On PSK Securityの鍵交換と暗号通信は、下記流れで行われます。



その他

<注意事項>

- 本製品は対向側の機器と合わせてお使いください。
- 製品への採用前に、低コストでお試しいただける「Cente PoCライセンス」もご用意しておりますのでご活用ください。

※本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。



お問い合わせは、上記QRコードをご利用ください

- μTRONはMicro Industrial The Realtime Operating system Nucleusの略称です。
- CenteはNXTech株式会社とDMG MORI Digital株式会社の登録商標です。 ●その他の製品名は各メーカーの商標又は登録商標です。

【開発・製造・販売】

NXTech株式会社 デジタル事業部 IoTソリューション部
〒190-0022 東京都立川市錦町1-8-7 立川錦町ビル8F
TEL.042-523-1177 FAX.042-523-7070

DMG MORI Digital株式会社

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1-1-14
TEL.011-807-6666

●問い合わせ先：詳しくはサイトをご覧ください

お問い合わせは
Cente Web サイトから！

技術セミナー開催中！
cente.jp

【販売代理店】